

ナザレ園サポート 24 水戸 令和元年度第 1 回介護・医療連携推進会議

日時 令和元年 8 月 22 日（木）14：00～15：15

場所 堀原市民センター

1. 事業報告（以下、委員敬称略）

①要介護度別・月別利用人数について

【ナザレ園サポート 24 水戸所長】

月による変動はほぼない。

②訪問分布地図について

【ナザレ園サポート 24 水戸所長】

中央圏域の利用者が多いが、東部圏域の利用者を受けていた時もあった。

【ナザレ園在宅総括所長】

市内全範囲を受けていたが、A事業所（他法人の定期巡回事業所）に続き新たな事業所もできるので、協力・分担して市内をカバーできるようにしていきたい。

③ケース報告

15 名の利用者の概要を報告。質疑無し。

2. 自己評価・外部評価について

【ナザレ園在宅総括所長】

評価表は、各職員が自己評価をし、項目ごとの回答人数を記入した。

評価表の理念の明確化の項目に関し、ヘルパーの心得を事業所に掲示した。本日持参したので、皆様で回覧し内容をご確認いただきたい。

委員の皆様には、9 月末までに「外部評価コメント」を記入し、返信頂きたい。昨年の自己評価は情報公表システムを使い公表したが、今回からは法人のホームページを使い公表する予定である。

\*後日、水戸市役所介護保険課より、自己評価・外部評価は、1 年を振り返って行うものなので、できるだけ年度終盤に実施するのが望ましいとのご意見をいただき、事業所内で検討し、来年度以降は、年度 2 回目の会議の際に実施することとした。

### 3. 質疑・意見

#### 【水戸市役所】

市内のどの地域にも 30 分以内に訪問できるように事業所を配置していきたい。

#### 【ナザレ園在宅総括所長】

通勤時間帯だと渋滞が発生し、予定した訪問時間に訪問できないことがあるが、利用者は理解してくださる。

#### 【水戸市役所】

東部などにも事業所ができて、協力しあって全域をカバーできるとよい。

利用者が伸び悩んでおり、水戸市としても新しいサービスとしてアピールしていきたい。

#### 【外部有識者】

私たちが関わった方も何人かお世話になっている。

月の定額の料金だと経済的に厳しい方は、利用できないこともある。

覚醒せず訪問時に水分を摂れない方がいるが、そのような方の利用は厳しいか？

#### 【ナザレ園在宅総括所長】

1 度目の訪問時に覚醒を促し、再度訪問することも可能である。

#### 【外部有識者】

日中独居の方に定期巡回で入ってほしいと思っている。

#### 【民生委員代表】

A 事業所はいつ参入したか？

#### 【ナザレ園在宅総括所長】

今年 4 月である。10 名の利用者がいるようだ。

土浦の事業所が当事業所に話を聞きにしたりしているので、参入したい事業所はある。

#### 【民生委員代表】

水戸市の北西部に事業所が偏っているので、常澄の方に入ってほしい。

#### 【ナザレ園在宅総括所長】

定期巡回は儲けを見込んで算入できない。職員をある程度抱えてマイナス採算で始まるので、母体となる法人があって当初の活動資金を賄えないと厳しい。A 事業所と看護の連携をしている。A 事業所は看護と一体型なので、医療依存度の高い方は A 事業所で担当してくれるよう話している。事業者間で協力体制を築いていきたい。

#### 【民生委員代表】

ナザレ園が事業所を作ったことは、力強い味方ができたと考えている高齢者が多い。制度が目まぐるしく改変されるなかで業績を延ばしていくことは、陰で相当の努力をしていると想像する。改めて敬意を表す。介護事業所間で手を携えて、乗り切っていただきたい。

**【ナザレ園サポート 24 水戸所長】**

柔軟に提供できるサービスを地域の方に理解していただき、サービスを提供していきたい。

**【ナザレ園サポート 24 水戸職員】**

訪問する中で難しい方もいるが、その方の気持ちにも思いをはせ、日々いろいろなことを吸収している。

**【ナザレ園在宅総括所長】**

当初は利用を断る方が多いが、入っているうちに心を開いてくださる方が多い。

4. その他

**【ナザレ園在宅総括所長】**

老人福祉施設協議会（老施協）の関東ブロック大会で、定期巡回の事例を発表する。老施協はこれまで施設部門だけだったが、今年から在宅部門もできた。今回は私達が那珂市の定期巡回に勤務していた時の事例を発表するが、水戸市でも私たちが入ることで、状態が改善するような事例を生み出していきたい。

**【外部有識者】**

ケアマネと話していると利用したことがなく勝手が分からないせいか、定期巡回が第一選択肢にあがらない。利用したケアマネはよかったと話すので、周知が大切である。支援の方でも利用すれば改善するのになと思われる方がいるが、制度上利用できないのが残念である。

5. 次回開催について

令和2年2月13日（木）かその前後の週に予定している。会場を確保し、1カ月前にお知らせする。

訪問看護は連携しているB事業所にも参加願おうと思っている。